

志木第二小学校内に新設保育園を整備します

市では、次代を担う子どもたちの健全な育成と、子育て世代の定住や若い世代の流入促進を目指し、子育てしやすい環境づくりを進めています。こうしたなか、あわせて昨今の問題となっている待機児童の解消を図るため、新たに志木第二小学校の敷地の一部を活用した民間保育園を整備します。

1 経緯

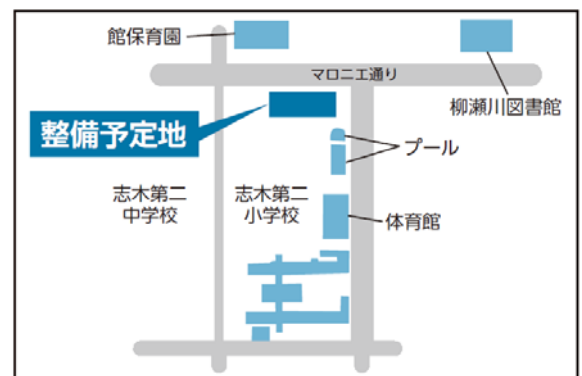
市では平成25年度から、老朽化が進む館保育園の今後のあり方について、公共施設マネジメントの視点や将来的な保育需要等を踏まえながら、検討を行ってきました。

その結果、現在の館保育園は、大規模な改修工事のうえ「民営化により保育を継続」とする方針を今年1月に決定しましたが、現在の待機児童対策に加え、今後も増加が予想される保育ニーズに対応するため、この度、志木第二小学校敷地内に新たに保育園を整備していくこととしました。

2 整備場所などの検討

新たな保育園の整備場所は、空き店舗や公園敷地などのほか、学校の余裕教室など、本市の限りある資源を有効活用することをテーマにさまざまな検討をしてきました。法的な規制や費用面、保育と教育の連携、地域の活性化など、将来に向けた本市の課題への対応を総合的に勘案したところ、志木第二小学校の敷地を活用して新たな保育園を整備することが、もっとも有効であると判断しました。

《配置図》



3 整備にあたっての基本方針

敷地内の樹木や運動器具などの教育資源は、可能な限り移植や移設を行いますが、やむを得ず削減せざるを得ないものについては、代替機能の検討を行います。

また、建設予定場所は、開校当時より地域や保護者の皆さんの協力により整備された樹木が生育し、現在も子どもたちの環境教育の資源として活用されていることから、PTAをはじめ町内会や地域の皆さんへ説明を行いました。特に、地域の中には長年にわたって学校の環境整備にご尽力いただいた方もいることから、個別に訪問し、丁寧に説明を行うなかで概ねご理解をいただいているところです。

さらに小学校内における保育施設整備について、先進事例である京都市や長岡京市、鶴ヶ島市などを視察し、成功した事例での知見を積極的に整備に生かしていきます。

4 整備に向けてのスケジュール

平成29年11～12月…保育園の運営事業者の募集・選定

平成30年4月～…新規保育園の設計・建築工事

平成31年4月～…新規保育園開園（民設民営）

旧館保育園の設計改修工事

平成32年4月～…旧館保育園リニューアルオープン(民営)

記者発表資料
平成29年6月29日
志木市健康福祉部子ども家庭課
担当者／課長 中村 修
電話番号／048-473-1111
内線2440